

1 (2) カタカナ指定 (4) 順不同完答

(1)	A	イ	B	ウ	C	ア	(2)	ヤゴ	(3)	×
-----	---	---	---	---	---	---	-----	----	-----	---

(4)	ウ, オ, カ	(5)	イ	(6)	イ
-----	---------	-----	---	-----	---

2

(1)	A	イ	D	エ	(2)	あ	(3)	イ	(4)	ア
-----	---	---	---	---	-----	---	-----	---	-----	---

(5)	①	6	②	1	③	黒点	④	自転	(6)	501.2 秒
-----	---	---	---	---	---	----	---	----	-----	---------

3 (4) 漢字 3 字指定 (6) ④ 完答

(1)	イ	(2)	エ	(3)	イ
-----	---	-----	---	-----	---

(4)	百	葉	箱	(5)	気温	エ	地温	ウ
-----	---	---	---	-----	----	---	----	---

(6)	①	24	℃	②	5月	19	日	③	ウ	④	日付	5月	16	日	時刻	ウ
-----	---	----	---	---	----	----	---	---	---	---	----	----	----	---	----	---

4

(1)	①	エ	②	ア	③	ウ	④	イ
-----	---	---	---	---	---	---	---	---

(2)	①	イ	②	ウ	③	エ	④	ア
-----	---	---	---	---	---	---	---	---

[配点] 1~3 各 3 点 × 28
4 各 2 点 × 8

1

- (3) トンボにはさなぎの時期がない。このような育ち方を不完全変態という。
- (5) トンボは動くものに注意がひきつけられるので、指をぐるぐる回している間に後ろからつかまえるとよい。
- (6) トンボは腹が長いので、はねを下げて前に出すことで「やじろべえ」のようにして重さのバランスをとりながらとまっている。

2

- (1) 最も短いのが正午のかげで、北の方角にのびている。
- (2) 午前9時には太陽が真南よりも東寄りの位置にあるので、ぼうのかげは真北よりも西寄りにのびる。
- (3) かげの先をつなぐとほぼ一直線になっている。これは、春分の日(3月)か秋分の日(9月)である。
- (4) 広島市は明石市よりも西の地点なので、正午にはまだ太陽が南中しておらず、真南よりも東寄りにある。そのため、ぼうのかげは真北よりも西寄りにのびている。
- (5) 太陽の表面にある黒点を観察すると、動いていることがわかる。これは、太陽が自転しているからである。
- (6) 光は 太陽→地球→月 と進むので、 $15000 \text{ 万 km} + 36 \text{ 万 km} = 15036 \text{ 万 km}$ 進む必要がある。光は1秒間に30万km進むので、 $15036 \text{ 万 km} \div 30 \text{ 万 km/秒} = 501.2 \text{ 秒}$ かかる。

3

- (1) 温度計を読むときは、液の平らな部分を真横から読み取る。
- (6) ① 5月20日の午後2時が最も高い。
- ② 1日中雨がふっている日は、気温の変化が非常に小さい。
- ③ 日の出ごろまでは気温が大きく下がっているため、晴れていたと考えられる。その後、午前10時ごろに気温が上がらなくなっているので、雨がふり始めたと考えられる。
- ④ 5月16日の午前10時から正午の間に13℃から20℃まで7℃上がっている。